平成２９年度　小山地区自治会連合会　事業計画（一部抜粋）

小山地区自治会連合会 ― 役員 ― 部会 ― 各自治会

交通部

・自転車交通安全街頭啓発活動
・交通安全教室
・児童交通安全啓発活動（４月・９月）

防犯環境部

・青パト防犯パトロール（通年）
・夜間パトロール（１２月：２回）
・小山地区地域市民清掃の日（５月・１１月）
・環境浄化パトロール・防犯キャンペーン参加（月１回）

防災部

・普通救命講習会（年１回）
・連合自主防災隊総合防災訓練（１０月）
・防災無線通信訓練（通年）

広報部

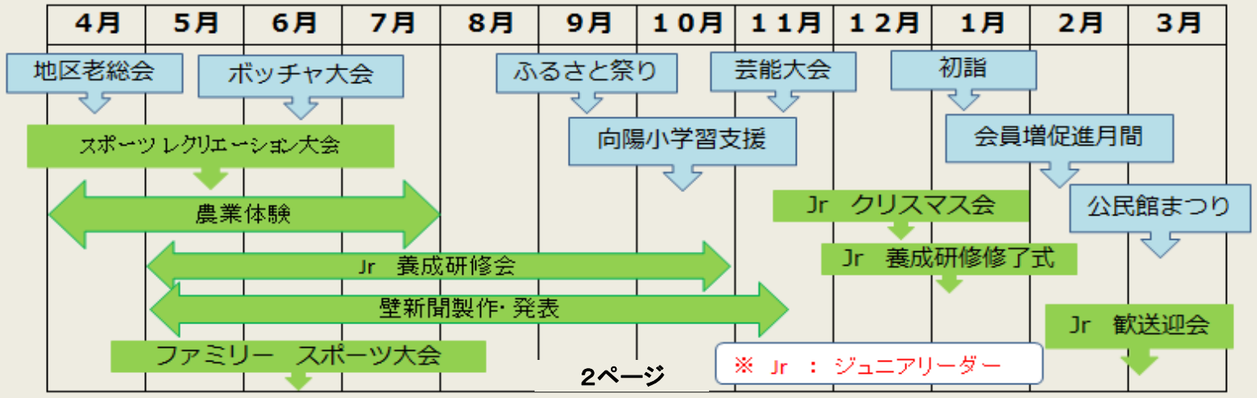
・おやま広報発行（年３回）
・ＨＰ更新研修会（通年）
・地区連ＨＰ運営（通年）

など、さまざまな活動をしています

その他

・役員会・理事会（月１回）
・視察研修会（６月・１１月）
・ふるさとまつり盆踊り・運動会（９月）
・敬老会（１０月）
・まちづくり懇談会（１１月）
・新春のつどい（１月）
・自治会加入促進活動（通年）　等

地区老連・地区子連の主な事業計画（青は地区老連関連、緑は地区子連関連）



“　専門部を再編成しました　”

小山地区自治会連合会の組織には従来「**交通、防犯、衛生環境、防災、広報**」の５部が在りましたが、衛生環境部と防犯部を新たに「**防犯環境部**」とし、地区の防犯及び衛生環境に関する活動を一括して担当することとしました。その他の部門は従来通りとし交通部は交通安全、防災部は防災活動、広報部は地区の広報活動を実施します。

自治会長新年度の抱負“私の選んだ言葉”

“ 防災の駅前”

相模原駅前自治会
会長　星　清次

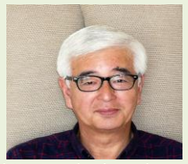
相模原駅前自治会では、大規模災害発生に備え**ご近所力**を発揮できるよう、自主防災訓練等により住民の防災力を高めます。また、現在実施中の災害時要支援カードにより、高齢で一人住まい等の方の安否確認や、見守りを充実していきます。

“ 笑顔であいさつ　心のふれあい”

すすきの向陽自治会
会長　江口　基明

地元に住んで６１年、地元を愛し好きなゴルフとお酒を楽しんでいます。　私の抱負としては地域の皆さんが住んで良かったと思える街づくりを目指し活動していきます。今年度の方針として、地元の方々がふれあう親睦活動と防犯防災活動の充実を推進します。

“ 向こう三軒両隣　”



宮下自治会
会長　入谷　利郎

「助け合い、支え合い、困ったときはお互いさま」という向こう三軒両隣の精神で、安全で住みやすい街づくりを進めたい。また、現役世代の方々に、無理をしない程度に自治会活動に参加していただく方策を考えていきたい。

“ 何事にも楽しく ”

すすきの自治会
会長　渡　静夫

29年度は、何事にも楽しくをモットーに進めてまいります。すすきの地域には寿寿喜の会、すすきの自治会、すすきの子ども会の3団体(3本の矢)が有ります。各団体が連携し自治会活動に当たっていきたいと考えています。“自治会の活動を楽しくやろう”

“ 災害への備え”

向陽自治会
会長　堀田　重光

向陽町では、昨年7月末に向陽宿舎が廃止となり、今年は各行事の直面する課題と変化を明らかにし、それに向け会員・役員皆様と課題解決に取り組みます。また高齢化社会に向け災害への備えを少しずつ進めます。

“ 地域住民一体化の促進 ”

久保原自治会
会長　安藤　孝洋

町内の企業、住民の方々同士の連帯感意識の高揚を図り、安全で安心な地域づくり、老若男女、世代間交流の大切さを重要視し、地域の一体化の推進で次世代へのつながりに結び付く自治会活動の推進に尽力して行きます。

“ 地域デビューを応援”

氷川町自治会
会長　武井　弘吉

自治会館と公園を有効に活用、町内各団体の活動・相互交流を支援・促進する。
団塊世代の地域活動参画に期待。自治連と協働し積極的に地域デビューを応援。

“ あなたの力を自治会に”

東第一自治会
会長　遠藤　秀雄

２９年度の重点目標は公私ともに「健康第一」です。また自治会では活動方針に会員皆様の賛同を頂きながら共に協力し合い、街の「安全安心」を確保し、元気で楽しいまちづくりを推進して行きたいと思います。

“ コンパニオン ”（Companion）

丸山自治会
会長　村西　弘明

「コンパニオン」とは“一緒に行動する人”を意味し、植物界では互いに良い影響を与える共栄作物を「コンパニオンプランツ」と言います。自治会活動においても互いによきコンパニオンでありたいと思っています。